KH-200D

NDT Mart
NDTマート株式会社

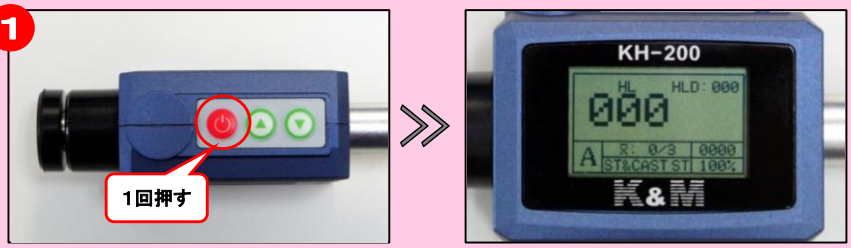
製品案内　リバウンド式硬さ計　簡易取扱説明書

1 概要

事前の準備
測定準備
測　定
その他の機能
一覧表

液晶ディスプレイ
測定面（手順【6】で使用）
電源キー（手順【1】で使用）
セレクト／セット／表示切替（手順【2】で使用）
USB／充電端子
機構部（手順【6】で使用）
リリースボタン（手順【7】で使用）
インパクトデバイス（手順【6】で使用）
セレクト／移動／消去（手順【2】で使用）

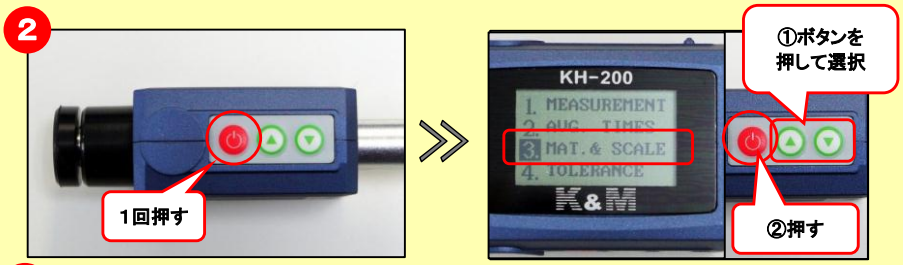
2 事前の準備



「電源」キーを押し電源を入れる。

3 測定準備

材質設定



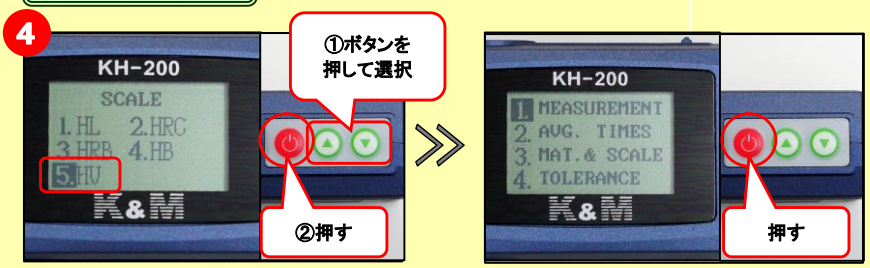
「電源（メニュー）」キーを1回押すとメニュー画面が表示される。
①「▲▼」キーで【3.MAT.&SCALE】を選択し、②「電源」キーを押す。

【 材質一覧表 】

1. ST CAST ST	鋼・鋳鋼
2. CWT. STEEL	工具鋼
3. STAINLESS	ステンレス
4. GC. IRON	ねずみ鋳鉄
5. NC.IRON	ダクタイル鋳鉄
6. ALUM.ALLOY	鋳造アルミ
7. BRASS	真鍮
8. BRONZE	ブロンズ
9. COPPER	銅

①「▲▼」キーで【3.STAINLESS】を選択し、②「電源」キーを押す。

硬さスケール設定



①「▲▼」キーで【5.HV】を選択し、②「電源」キーを押す。

※硬さスケール一覧表は【6】硬さスケール一覧表を参照。
「電源」キーを押して測定画面にする

KH-200D

製品案内　リバウンド式硬さ計　簡易取扱説明書

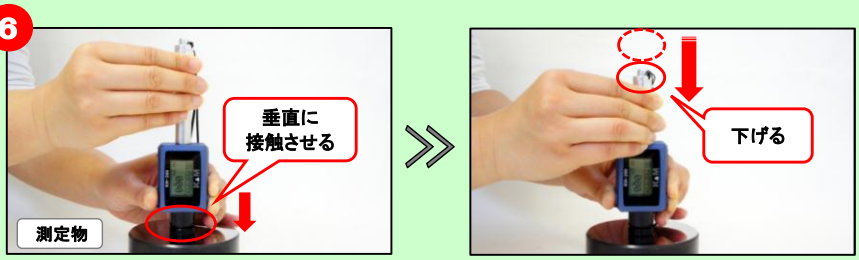
5 測定前　確認事項

表面の前処理	■表面粗さを推奨の粗さ以下に仕上げる ■滑らかな金属光沢であること ■きれいで油染みが無い
測定物重量	■支持台・グリス 定盤など重さのある安定した台の上で測定する。 台と測定物の間にグリスまたは粘性の高い油を塗布する。 ■支持台 安定した台の上で測定する。

測定物重量			最小厚さ		表面粗さ（推奨）	
支持台・グリス	支持台	支持台不要	測定物	硬化層深さ	ISO	Ra
0.05～2 kg	2.5 kg	5 kg以上	3 mm	0.8 mm	N_7	2

4 測定

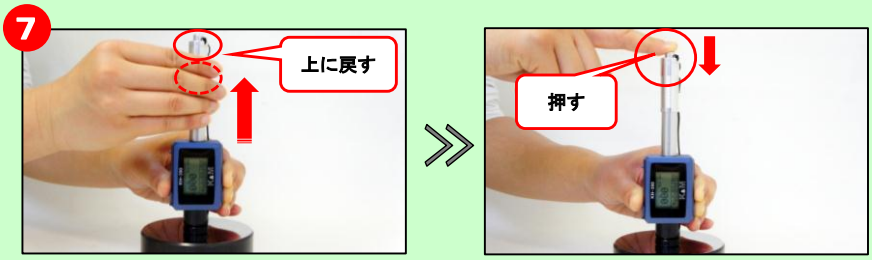
6



測定物にインパクトデバイスのアダプタを当てる。

インパクトボディーをつかんだまま下げる。

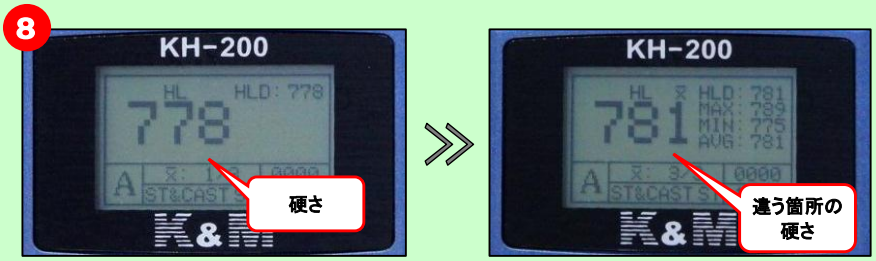
7



再び上へ戻す。

垂直に接触させたまま、インパクトボディー上部を押す。中にあるチップが落下し、測定する。

8



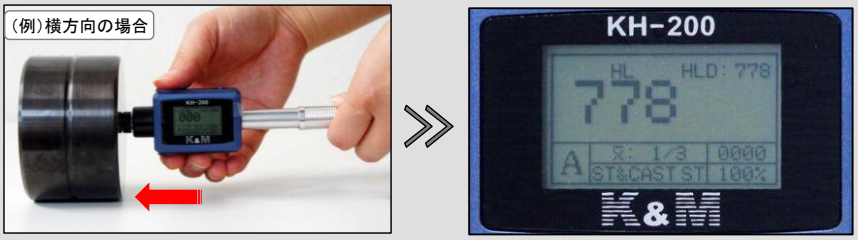
硬さの数値が表示される。

KH-200D

製品案内　リバウンド式硬さ計　簡易取扱説明書

5 その他

インパクト方向（自動設定）



測定する方向は、上方・下方・横方向等自動で認識し設定される。

6 一覧表

硬さスケール一覧表

	材質／硬さスケール	HLD	HB	HRC	HRB	HV	HS
1	鋼・鋳鋼	300-900	80-647	20-68	38.4-99.5	80-940	32.5-99.5
2	工具鋼	300-840		20.4-67.1		80-898	
3	ステンレス	300-800	85-655	19.6-62.4	46.5-101.7	85-802	
4	ねずみ鋳鉄	360-650	90-334				
5	ダクタイル鋳鉄	400-660	131-367				
6	鋳造アルミ	174-560	20-159				
7	真鍮	200-550			13.5-95.3	40-173	
8	ブロンズ	300-700	60-290				
9	銅	200-690	45-315				